# 2019 年度 後期

# 留学生教育・支援センター

# 【中級Ⅱ】シラバス一覧

	科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅱ	会話	水3	古本	1
中級Ⅱ	作文	水 4	永井	2
中級Ⅱ	読解	火2・火3	松本	3
中級Ⅱ	聴解	金 3	小谷	4
中級Ⅱ	漢字	月 2	夛田	5
留学生教	(育・支援センターで開講されている日本語)	プログラムでの各クラスの	Dレベルについて	6

2019 年度 後期	曜日・校時	水曜日・3 校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日常生活に	関連する話題,および身近	で個人的に関	関心がある事について, 楽に自信をもって,
	積極的かつ詳細	に話すことができる。 (2)	いろいろな	ところから集めた情報や議論をまとめ、報告
	することができ	る。 (3) 日本人に対し、イ	ンタビュー	をスムーズに行うことができる。

前半は、シャドーイング練習、ニュースのプレゼン、会話練習を繰り返します。後半は、日本人の考えや長崎大学 事情を知るために日本語でインタビュー調査を行い、その結果を発表します。

第1週	10/2	オリエンテーシ	ョン, 口頭試験(1)		
第2週	10/9	「ディスカッションする」			
第3週	10/16	「人の外見や物)	に関して、詳しく描写・説明する (1)」		
第4週	10/23	「人の外見や物)	に関して、詳しく描写・説明する (2)」		
第5週	10/30	シャドーイング	テスト (1)		
第6週	11/6	「雑談:カジュ)	アルに話す (1)」		
第7週	11/13	「雑談:カジュ	アルに話す (2)」		
第8週	11/20	「雑談:聞き上	「雑談:聞き上手になる」		
第9週	11/27	「雑談:1つの話題を掘り下げて話す」、シャドーイングテスト(2)			
第 10 週	12/4	インタビュー	1. 計画		
第 11 週	12/11	調査・発表	2. インタビューでの日本語練習,インタビュー実施		
第 12 週	12/18		3. 結果のまとめ		
第 13 週	1/8		4. プレゼンテーションでの日本語練習,シャドーイングテスト(3)		
第 14 週	1/15	5. プレゼンテーション準備			
第 15 週	1/22		6. プレゼンテーション		
第 16 週	TBA	口頭試験(2)			

教科書・教材等	参考『新版 ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』(凡人社)『日本語教師のた		
	めの日常会話力がグーンとアップする雑談指導のススメ』(凡人社)		
成績評価の方法・	(1) 宿題:25% (2) インタビュー調査:25% (3) ニュースのプレゼンテーション:20%		
基準等	(4) シャドーイング:15% (5) 口頭試験:10% (6) 授業への参加度:5%		
	注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3		
	分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。		
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得		
	る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等		
	のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支		
	援室)にご相談下さい。		
	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(準備学習	私的な理由(ex. 旅行,家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認めない。		
等)	やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)に		
	より、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の		
	90%となる。		

2019 年度 後期	曜日・校時	水曜日・4 校時	コマ数	1 = 7
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	永井智香子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本語の書き言	言葉を使ってレポートなど	゛が書けるよ	くうになることが第一の目標である。それに
	加えて、日本語	吾にはさまざまな文体があ	ることを理	<b>Ľ解し、さまざまな文体を駆使してエッセイ</b>
	やストーリーを	と書いてみることも目標の	一つである	•

毎回の授業はプリント教材にそって進めます。毎回作文の宿題があります。

第1週	10/2	オリエンテーション、書くとき注意すること 1
第2週	10/9	表記のしかた
第3週	10/16	話し言葉と書き言葉
第4週	10/23	助詞のような働きをする言葉①
第5週	10/30	助詞のような働きをする言葉②
第6週	11/6	さまざまな文末表現
第7週	11/13	書くとき注意すること 2
第8週	11/20	小テスト1
第9週	11/27	形式名詞
第 10 週	12/4	エッセイを書こう
第11週	12/11	分類をして書く
第 12 週	12/18	書くとき注意すること 3
第 13 週	1/8	さまざまな接続表演
第 14 週	1/15	数や割合を表す表現、引用の書き方
第 15 週	1/22	小テスト 2
第 16 週		

教科書・教材等	プリント教材		
成績評価の方法・	宿題 20%、 小テスト 1 35%、 小テスト 2 35% 、授業への取り組み 10%		
基準等	注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分		
	の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。		
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る		
	社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサ		
	ポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)		
	にご相談下さい。		
	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(準備学習	・最終的なシラバスは授業初日に配布します。変更の可能性有		
等)	・私的な理由(ex. 旅行,家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認めない。		
	やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.) によ		
	り、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%		
	となる。		

2019 年度 後期	曜日・校時	火曜日・2&3 校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級Ⅱ読解			
担当教員名	担当教員名 松本久美子			授業初日に通知
授業到達目標	受業到達目標 日本社会について書かれた		読み、中級	後期レベルの読解力をつけるととも
	に、日本社会は	に関する知識を得る。		

基本的に予習を前提に教科書に沿って授業を進めます。必ず予習して授業に来てください。また課毎に読解と文法の宿題があります。

第1週	10/1	オリエンテーション	第1課 病院の色
第2週	10/8	第1課 病院の色	第1課 病院の色
第3週	10/15	第2課 エープリル・フール	第2課 エープリル・フール
第4週	10/29	第3課 学校の制服	第3課 学校の制服
第5週	11/5	第4課 計算の方法を説明する	第4課 計算の方法を説明する
第6週	11/12	第5課 子供の遊び	第5課 子供の遊び
第7週	11/19	第6課 古くなったお札の行方	第6課 古くなったお札の行方
第8週	11/26	復習	テスト①:1課~5課
第9週	12/3	第7課 水への関心	第7課 水への関心
第 10 週	12/10	第8課 南米の先住民は全員0型?	第8課 南米の先住民は全員0型?
第 11 週	12/17	第8課 JLPT:N2 (読解問題)	第9課 座談会「漫画について」
第 12 週	1/7	第9課 座談会「漫画について」	第9課 JLPT:N2 (読解問題)
第 13 週	1/14	第10課 ヒトのことばと鳥の歌	第10課 ヒトのことばと鳥の歌
第 14 週	1/21	第10課 ヒトのことばと鳥の歌	JLPT:N2(読解問題)
第 15 週	1/28	復習	テスト②:6課~10課

教科書・教材等	『中級を学ぼう:日本語の文型と表現 82、中級中期』スリーエーネットワーク		
成績評価の方法・	授業への参加度 10%、宿題 10%、テスト 80%(テスト① 40%・テスト②40% )		
基準等	注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数		
	の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。		
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとな		
	り得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合		
	理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」		
	(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
	アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(準備学習	私的な理由(ex. 旅行,家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認め		
等)	ない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究		
	発表 etc.) により, テストが受けられない場合は後日テストを実施するが, その場合,		
	点数は獲得点数の 90%となる。		

2019 年度 後期	曜日・校時 金曜日・3 校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解		
担当教員名	小谷 裕子	e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	ナチュラルスピードの音声から必要情報	ど的確に指	うことができる。聞き取った内容を正確
	に理解し、自分の言葉で再表現できる。	また、表記	<b>己することができる。</b>

様様な分野のニュース等を聞くことにより正確な聴解力を向上させるとともに、語彙力・表現力を高める。 また、日本社会とその抱える問題について理解を深める。

第1週	10/4	オリエンテーション / plus 40 ⑤ (21) 回転寿司
第2週	10/11	(23)名前の無い手紙
第 3 週	10/18	(24)あなたの成績は朝ごはん次第 / ビデオ『乱れた子どもの食生活』
第 4 週	10/25	(26) いちばん上の子は神経質?
第5週	11/1	(27) 結婚するなら年上?年下?
第6週	11/8	(28) 太鼓の響き
第7週	11/15	(29)睡眠不足じゃありませんか
第8週	11/22	中間試験
第9週	11/29	(30)お菓子のおまけ
第 10 週	12/6	(31) 進化するロボット
第 11 週	12/13	(33)日本を知らない日本人
第 12 週	12/20	(35)若い登山家 / ビデオ『私が子どもだった頃:野口健』
第 13 週	1/10	(38)屋上の緑化
第 14 週	1/24	(36)変化する就職事情
第 15 週	1/31	(39)英語力や資格は必要ですか / 総まとめ / 学生による授業評価
第 16 週	2/7	期末試験

教科書・教材等	「毎日の聞き取り plus40 ①」凡人社(主教材)									
	日本語能力試験N2聴解関連教材(副教材)									
成績評価の方法・	授業への参加度 20%、 態度 10%、 小テスト 20%									
基準等	中間試験 20%、 期末試験 30%									
	注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3									
	分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。									
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり									
	得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配									
	慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい									
	学生支援室)にご相談下さい。									
	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先									
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp									
備考(準備学習	私的な理由 (ex. 旅行, 家族訪問 etc.) によりテストが受けられない場合は追試を認めない。									
等)	やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc.,専門関係:乗船実習,研究発表 etc.)									
	により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点									
	数の 90%となる。									

2019 年度 後期	曜日・校時	月曜日・2 校時	コマ数	1コマ			
授業科目	中級Ⅱ漢字						
担当教員名	夛田美有紀		e-mail	授業初日に通知			
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理し、新しい漢字や漢字の言葉を使えるようになる。						

授業概要/新しい漢字とその漢字を使った言葉の学習をし、翌週にその漢字の読みクイズとグループワークを行う。授業の後半で、次の課の新しい漢字とその漢字を使った言葉の学習をする。

9/30	オリエンテーション、1課「覚える」
10/7	休講
10/21	1課「問題」・「おまけ」、2課「覚える」
10/28	2課「問題」・「おまけ」、3課「覚える」
11/11	3課「問題」・「おまけ」、4課「覚える」
11/18	4課「問題」・「おまけ」、5課「覚える」
11/25※	テスト 1(1 課~4 課)
12/2	5 課「問題」・「おまけ」、6 課「覚える」
12/9	6課「問題」・「おまけ」、7課「覚える」
12/16	7課「問題」・「おまけ」、8課「覚える」
12/23	8課「問題」・「おまけ」、9課「覚える」
1/6※	テスト 2(5 課~8 課)
1/20	9課「問題」・「おまけ」、10課「覚える」
1/27	10 課「問題」・「おまけ」、11 課「覚える」
2/3 *	11 課「問題」・「おまけ」、12 課「覚える」
2/10*	12 課「問題」・「おまけ」
未定※	テスト 3(9 課~12 課)
	10/7 10/21 10/28 11/11 11/18 11/25 12/2 12/9 12/16 12/23 1/6 1/20 1/27 2/3 * 2/10 *

※試験はコンピュータの部屋が使える日にします。試験の二週間前までに日時を決めます。

### \*2月の予定は皆さんの予定を聞いて決めます。

『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 超級編』 藤田佐和子 著 ココ出版									
出席・授業態度 8%、読みクイズ 12%、宿題 5%、テスト 1 20%、テスト 2 25%、テスト									
3 30%									
注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2									
に達しない場合は,成績評価は与えられません。									
長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社									
会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポー									
トについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相									
談下さい。									
アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先									
(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp									
私的な理由(ex. 旅行,家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむ									
を得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により, テ									
ストが受けられない場合は後日テストを実施するが,その場合,点数は獲得点数の 90%となる。									

#### 留学生教育・支援センターで開講されている 日本語プログラムでの各クラスのレベルについて

				CEFR
クラス名 レベル		レベルについての説明	JLPT	(ヨーロッパ音器
7 7 7 4	D	D 1001C 30 C 000000	(日本服能力試験)	共進命指律)
			のレベル	のレベル
初級I	初級	初歩的な文法・漢字(100 字程度)、語彙(800 語程度)を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話がで		
	前半	き、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。		
		・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。		
		・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質		
		問をしたり、答えたりできる。		A1
		・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A2-1
初級Ⅱ	初級	基本的な文法・漢字(300 字程度)・語彙(1,500 語程度)を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単		
	後半	な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。		
		・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現		
		が理解できる。		
		・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。		
		・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級 I	中級	基本文法の応用ができ、漢字(700 字程度)・語彙(3,500 語程度)を習得し、一般的なことがら、日常的		
	前半	な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。		
		・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。		
		・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。		
		・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。		
		・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級	やや高度な文法・漢字(1000 字程度)・語彙(6,000 語程度)を習得し、少し高度な一般的なことがら、		
	後半	日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。		
		・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。		
		・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。		
		・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示		
		しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級I	上級	高度な文法・漢字(1,500 字程度)・語彙(8,000 語程度)を習得し、大学における学習・研究の基礎とし		
	前半	て役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。		
		・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。		
		・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳		
		細を、適切に強調することができる。		
		・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。		
		・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加え		
		て、内容を補足できる。		
上級Ⅱ	上級	高度な文法・漢字(2,000 字程度)語彙(10,000 語以上)を習得し、大学における学習・研究の基礎とし		
	後半	ても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。		
		・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。		
		・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。		
		・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。		
		・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や		C1
		接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C2

#### **※留学生教育・支援センター**では、以下のような日本語クラスを開講しています。

 			- 1							
初級 I	(5 単位,	週5コマ)	中級	I 読解	(2 単位,	週2コマ)	上級I読解	(2 単位	週2コマ)	
初級Ⅱ	(5 単位,	週5コマ)	中級	I 聴解	(1 単位,	週1コマ)	上級 I 総合	(2 単位	週2コマ)	
			中級	I 会話	(1単位,	週1コマ)	上級Ⅱ総合A	(2 単位,	週2コマ)	
			中級	I 作文	(1単位,	週1コマ)	上級 Ⅱ 総合 B	(2 単位,	週2コマ)	
			中級	I 漢字	(1 単位,	週1コマ)	上級 Ⅱ 総合 C	(2 単位,	週2コマ)	
			中級	Ⅱ 読解	(2 単位,	週2コマ)	上級 Ⅱ 総合 D	(2 単位,	週2コマ)	
			中級	Ⅱ聴解	(1 単位,	週1コマ)	日本語能力試	験 N1 対策	講座(1 単位,	週1コマ)
			中級	Ⅱ会話	(1 単位,	週1コマ)				
			中級	Ⅱ作文	(1 単位,	週1コマ)				
			中級	Ⅱ 漢字	(1 単位,	週1コマ)				
			中級	総合 A	(1単位,	週1コマ)				
			中級	総合 B	(1単位,	週1コマ)				

<sup>\*</sup>週1コマとは、1週間に90分の授業を1回行うことを指します。